



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1 (清水事務所)

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

## 元副市長をめぐる重大問題

### 日本共産党は全容解明に全力を尽くします

#### なぜ、こうした事態が起こったのか、全容解明は不可欠

この間、助役、副市長という市の最高幹部を長年にわたって務めてきた河内氏をめぐる重大な事実が次々と明らかになっています。

市立病院においては、院長相談役として臨時職員の処遇で、55万円の高額な月額賃金に加え、時間外手当や理由が不明確な賃金も含めると、年間1000万円前後に及ぶ賃金が支給されていたことが明らかになりました。

さらに川辺堀之内の組合施行の区画整理事業においては、理事長相談役の処遇で、同組合と個人委託契約を結んで約2000万円に及ぶ委託料が支払われていた事実も発覚しました。

いずれも、地方公務員法などの法令違反の疑いもある重大な問題です。

#### ①臨時職員に年間1000万円前後の賃金を支給し続けていた

##### 問題について

元副市長は、2012年から市立病院の院長相談役として任を担っていましたが、その雇用形態が臨時職員であることが、この間、明らかになりました。臨時職員であるにもかかわらず、管理監督的な職務を担わせ、55万円という高額な月額賃金を支

給し続けてきたことは、地方公務員法の趣旨にも反する重大問題です。

しかも、その他にも時間外手当や、理由が不明確な賃金を支給し、年間1000万円前後の賃金を支給していた事実も判明してきています。(裏面へ続く)

党市議団は、臨時職員としての雇用が明らかになった昨年の9月議会以降、早急な是正を迫るとともに、今年3月議会では、

市が公表を拒んでいた月額賃金の開示を迫るとともに、雇用をめぐる最終責任者である市長の責任を追及してきました。

## ②市が補助金を出している区画整理組合から2000万円に及ぶ個人委託料が支払われている問題について

元副市長は、市が補助金を出している川辺堀之内の組合施行の区画整理事業においても、組合理事長の相談役の任に就き、相談役個人と組合との間で委託契約を結び、年額約2000万円に及ぶ委託料が支払われていたことが判明しました。

上記の通り、元副市長は市立病院院長相談役の任にも就いており、市への申請・許可なく組合理事長相談役の任も担っていたとすれば、地方公務員法の兼職禁止規定にも反する重大な問題です。3月議会での追及に市も「申請・許可などは行われていない」事実を明らかにしました。

なぜ、このような不適切な雇用や委託が行われてきたのか、またこうした実態を市

はどのように把握していたのか。全容を明らかにし、二度とこうした事態を起こさない対策と決意を示すことが日野市には求められています。

党市議団は、引き続き全容の解明をはかり、市政の歪みをただすために全力を尽くします。

なお、3月議会に2人の議員から「市立病院臨時職員の地方公務員法及び地方自治法違反の雇用調査に関する」100条調査特別委員会の提案が行われましたが、院長相談役だけでなく、市立病院で1年以上働いている193人の臨時職員全員をも違法として調査の対象とする中身となっており反対しました。

## 畑だより・・・

連休に夏野菜の苗を植え（写真左）、3月末にまいだ大根葉（写真右）を収穫。エンドウ豆はもう少し先。

